

2025年1月24日

「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2024年10～12月期速報）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2024年10～12月期速報）」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断DIは、「悪化」超15.0%と、前期（2024年7～9月期）調査の同13.3%から概ね横ばい（1.7ポイント（以下、pt）低下）でした。業種別にみると、製造業は前期から横ばい（同0.9pt上昇）、非製造業は4.3pt低下しています。

今期、製造業では、生産・受注が持ち直す中で、経常利益の改善がみられましたが、海外経済減速の影響やコスト高といった課題を指摘する声もあり、総じてみた景況感は、前期から横ばいとなりました。一方、非製造業では、価格転嫁などを背景に売上判断DIが7期振りに「増加」超（プラス）となりましたが、コスト高、消費マインドの低迷などによって経常利益が圧迫され、景況感が低下しました。なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、1970年以降50年以上にわたり、四半期ごとの定期調査として実施しているものです。従業員数300人以上の大企業から30人未満の企業まで、茨城県内企業を幅広く調査対象としています。今回の調査期間は2024年12月2日～27日、有効回答数は200社（製造業84社、非製造業116社）でした。

以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします
常陽産業研究所 地域研究センター（茂木・荒澤） 029-233-6735

概況 自社業況総合判断 DI は全産業で概ね横ばい

— 海外経済の減速、人手不足、収益性の改善などへの対応が引き続き課題 —

今回調査の概要

茨城県内企業の景況感を表す自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「悪化」超 15.0%と、前期（2024 年 7～9 月期）調査の同 13.3%から概ね横ばい（1.7pt 低下）となった（図表 1）。なお、DI は若干（1.7pt）低下したものの、DI 算出に用いる自社業況総合判断の内訳を見ると、「横ばい」が 63.0%（前期比 2.0pt 上昇）と最も多く、次いで「悪化」が 26.0%（同 0.2pt 低下）、「好転」が 11.0%（同 1.9pt 低下）となっている（図表 2）。「悪化」の割合が上昇していないこと、コロナ禍前と同様に「横ばい」が過半数を占めていることから、コロナ禍による経済活動への影響は、一部を除いて収束したものと推測される。

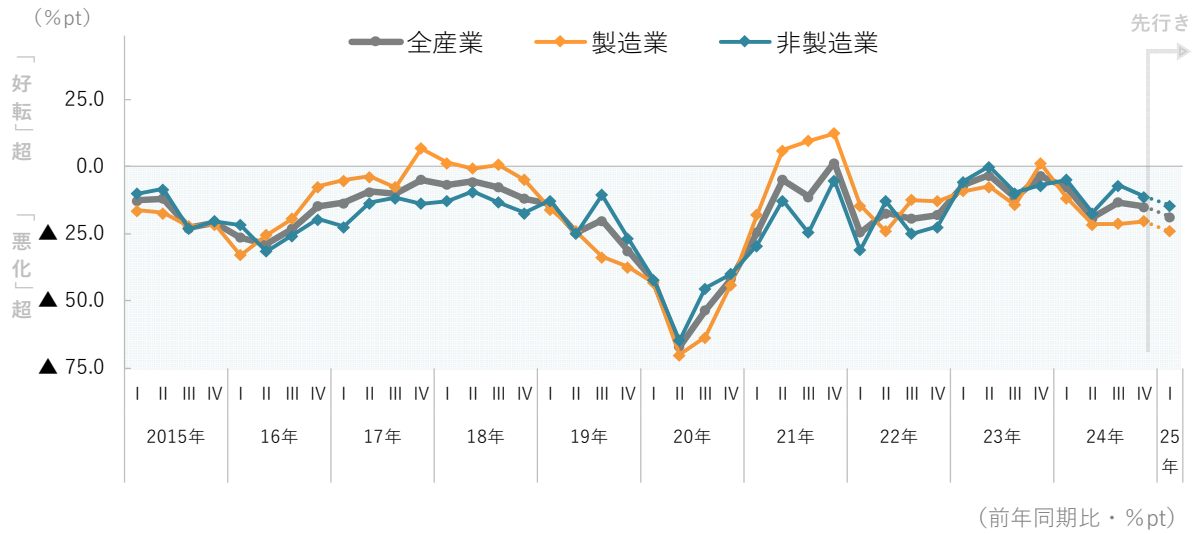
自社業況総合判断 DI を業種別にみると、製造業は「悪化」超 20.3%と前期から横ばい（0.9pt 上昇）だった。製造業のうち、素材業種と加工業種は上昇、その他業種は低下している（図表 3-1）。一方、非製造業は「悪化」超 11.2%と前期比で 4.3pt 低下した。非製造業のうち、建設業、卸売業、小売業は低下、運輸・倉庫業は上昇、（宿泊・飲食業などを含む）その他業種は横ばいとなっている（図表 3-2）。なお企業規模別では、30 人未満と 100～299 人が上昇、30～99 人と 300 人以上が低下した（図表 3-3）。

業績面の指標を業種別にみると、製造業では、生産判断 DI が「減少」超 19.1%と前期比 5.7pt 上昇、受注判断 DI が「減少」超 16.9%と同 3.5pt 上昇している（図表 4）。こうした中で、経常利益判断 DI は「減少」超 14.5%と、引き続き水面下（マイナス）の水準ながらも、同 8.1pt 上昇した。一部の企業からは、「引き合いが多く繁忙」（電気機械）、「主要取引先からの受注が増加」（電気機械）といった明るい声が聞かれる。一方で、「EV 関連は低調だが、白物家電関連が伸びた」（絶縁材）、「暖冬の影響で冬物が売れず、他の商品でカバーした」（食料品）など、製品により好不調があるとの声や、「北米・中国をはじめ全世界の市況が悪く、売上が大幅に減少」（業務用機械）、「国内向けは回復基調だが、中国や東南アジア市場が停滞している」（輸送用機械）など、海外経済減速の影響を受けたとの声も多く聞かれた。また、人件費や資材価格等の高騰により収益が圧迫されているとの声や、「コスト高や金利上昇で住宅市況が冷え込んでいる」（住宅用資材）といった業界全体の低迷を指摘する声もあり、必ずしも楽観視できる状況にはない。

非製造業では、売上判断 DI が「増加」超 1.8%と、前期比 7.2pt 上昇した（図表 4）。同 DI が「増加」超となるのは、2023 年 1-3 月期以来、7 期振りである。企業からは「運賃改定を実施した」（運輸業）、「景気は良くないが、価格転嫁に踏み切った」（自動車整備・販売業）といった声が聞かれる。一方で、経常利益判断 DI は「減少」超 20.8%と、前期比 10.3pt 低下した。企業からは、「原材料費の高騰が続いている」（宿泊・飲食業）など、コスト高が収益を圧迫しているとの声や、「価格転嫁で売上は上昇しているものの、実質賃金の低下などから買上率が低下している」（小売業：スーパー）など、物価高を受けた消費マインドの低迷を指摘する声があがっている。また、「働き方改革による残業規制の影響で生産高が減少している」（測量業）など、経営に影響するほど人手不足が深刻との声も聞かれた。

次期（2025 年 1～3 月期）の自社業況総合判断 DI は、全産業で「悪化」超 18.6%と今期から 3.6pt 低下、業種別では、製造業が同 24.1%と 3.8pt 低下、非製造業が同 14.6%と 3.4pt 低下する見通しとなっている（図表 1）。先行きは、米トランプ政権の政策を含む海外経済の動向、日本政府による税制や経済政策の行方、金融・為替市場等の動向、国内の物価・賃金の動向、県内企業の価格転嫁の動向などを注視する必要があるだろう。

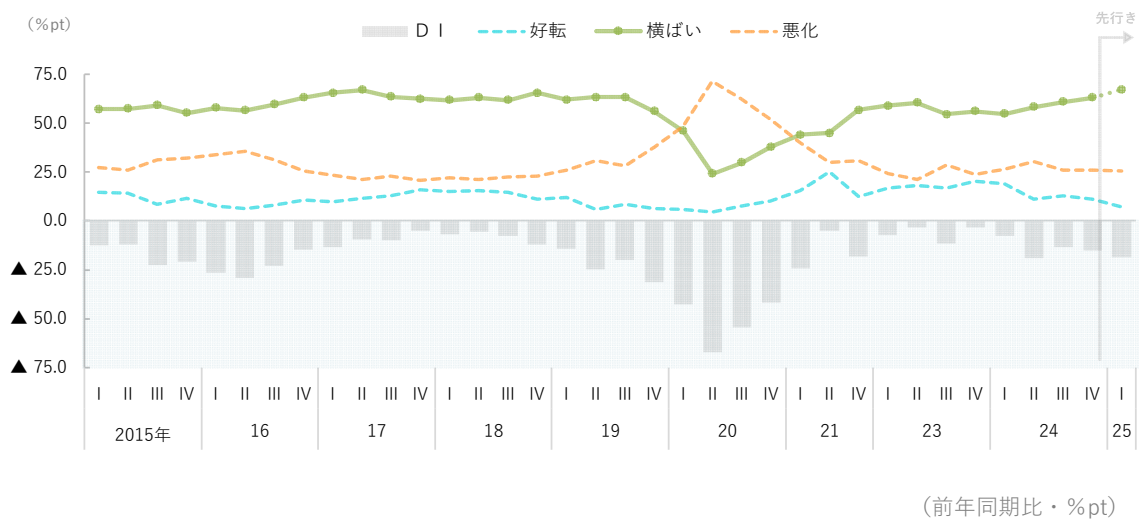
図表1 自社業況総合判断 DI の推移



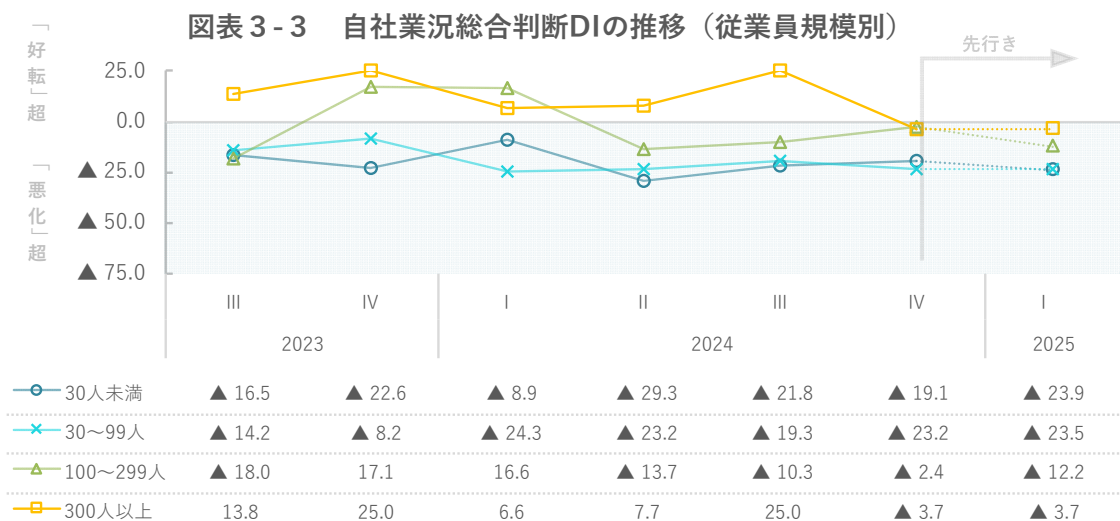
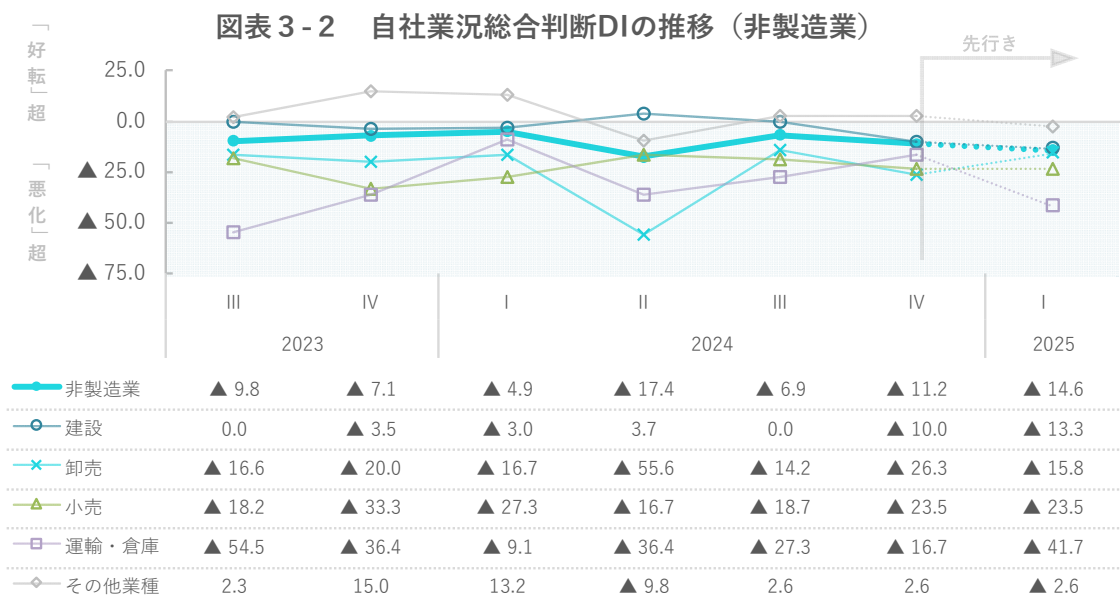
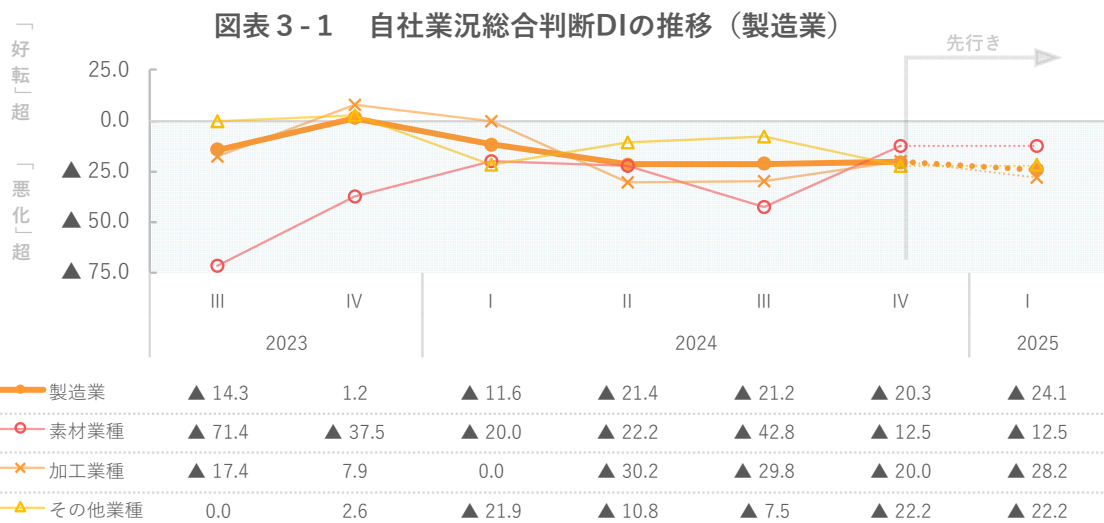
業種	2023年		2024年				前回調査 時点の予測	2025年
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期		1~3月期 予測
全産業	▲ 11.7	▲ 3.5	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 11.5	▲ 18.6
製造業	▲ 14.3	1.2	▲ 11.6	▲ 21.4	▲ 21.2	▲ 20.3	▲ 12.9	▲ 24.1
非製造業	▲ 9.8	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 17.4	▲ 6.9	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 14.6

※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合 - 「悪化」回答企業割合

図表2 自社業況総合判断の推移（全産業）



	2023年			2024年				2025年
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 予測
好転	18.1	16.9	20.2	18.8	11.3	12.9	11.0	7.0
横ばい	60.5	54.5	56.1	54.8	58.3	61.0	63.0	67.3
悪化	21.4	28.6	23.7	26.4	30.4	26.2	26.0	25.6
DI	▲ 3.3	▲ 11.7	▲ 3.5	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 18.6



図表 4 自社業況総合判断以外の主な DI の推移

(前年同期比、前期比・%pt)

項目	業種	2023年		2024年				2025年
		7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 予測
国内景気判断DI (「好転」 - 「悪化」)	全産業	2.8	1.5	8.7	▲ 9.3	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 11.1
	製造業	2.2	4.8	4.7	▲ 5.6	▲ 20.2	▲ 11.9	▲ 13.3
	非製造業	3.2	▲ 0.9	11.5	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 7.8	▲ 9.5
生産DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 19.8	2.4	▲ 17.6	▲ 22.4	▲ 24.8	▲ 19.1	▲ 20.5
受注DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 15.2	2.4	▲ 17.6	▲ 20.7	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 18.3
売上(出荷)DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 9.0	1.1	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 3.6	▲ 12.5
	製造業	▲ 11.0	7.1	▲ 13.0	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 10.8	▲ 15.9
	非製造業	▲ 7.6	▲ 3.7	▲ 6.3	▲ 9.5	▲ 5.4	1.8	▲ 10.0
仕入価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	56.8	56.4	54.9	59.8	57.0	55.9	53.9
	製造業	46.8	57.6	60.7	60.9	54.8	55.4	56.1
	非製造業	64.5	55.3	50.9	58.9	58.8	56.2	52.3
販売価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	33.1	34.5	32.3	31.1	32.7	29.7	29.9
	製造業	28.3	35.3	35.7	29.0	34.7	24.1	25.6
	非製造業	37.0	33.9	29.9	32.8	31.0	33.9	33.0
経常利益DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 17.0	▲ 7.6	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 25.1
	製造業	▲ 19.6	▲ 2.3	▲ 23.6	▲ 24.2	▲ 22.6	▲ 14.5	▲ 20.0
	非製造業	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 18.3	▲ 10.5	▲ 20.8	▲ 28.7

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2025年1月24日
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2021		2022		2023		2024								概況						
		7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12		(前期比)	7~9 時点予想	(予想比)	10~12 予想	(今期比)	
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲20.2	5.0	▲29.4	▲15.7	▲27.1	▲23.0	▲9.7	10.7	2.8	1.5	8.7	▲9.3	▲15.1	▲9.5	(5.6)	▲10.5	(1.0)	▲11.1	(▲1.6)	製造業は前期比8ポイント上昇し、非製造業は同3ポイント上昇した。先行きは、製造業で概ね横ばい(-)、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲4.3	17.2	▲24.1	▲19.8	▲18.0	▲16.9	▲13.1	0.0	2.2	4.8	4.7	▲5.6	▲20.2	▲11.9	(8.3)	▲5.4	(▲6.5)	▲13.3	(▲1.4)		
	非製造業	▲30.4	▲2.2	▲33.1	▲12.8	▲34.1	▲27.9	▲7.2	19.0	3.2	▲0.9	11.5	▲12.1	▲11.1	▲7.8	(3.3)	▲14.6	(6.8)	▲9.5	(▲1.7)		
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲16.0	▲4.2	▲25.5	▲17.5	▲21.1	▲22.7	▲10.6	▲6.9	▲14.0	▲5.5	▲9.2	▲17.3	▲20.6	▲20.0	(0.6)	▲12.5	(▲7.5)	▲20.1	(▲0.1)	製造業は前期から概ね横ばい(+)、非製造業は横ばい(-)だった。先行きは、製造業で横ばい(-)、非製造業で横ばい(=)となる見通し。
	製造業	2.2	10.0	▲18.0	▲25.0	▲21.3	▲22.3	▲15.0	▲12.7	▲21.7	▲2.4	▲16.3	▲21.4	▲26.6	▲25.0	(1.6)	▲11.8	(▲13.2)	▲25.3	(▲0.3)		
	非製造業	▲27.6	▲12.6	▲30.4	▲12.2	▲21.0	▲22.9	▲7.1	▲2.4	▲8.2	▲7.9	▲4.1	▲14.1	▲15.6	▲16.3	(▲0.7)	▲13.0	(▲3.3)	▲16.3	(0.0)		
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲11.3	1.4	▲24.6	▲17.4	▲19.5	▲18.1	▲7.1	▲3.3	▲11.7	▲3.5	▲7.6	▲19.1	▲13.3	▲15.0	(▲1.7)	▲11.5	(▲3.5)	▲18.6	(▲3.6)	製造業は前期から横ばい(+)、非製造業は前期比4ポイント低下した。先行きは、製造業で4ポイント低下、非製造業で3ポイント低下する見通し。
	製造業	9.6	12.5	▲14.6	▲24.0	▲12.4	▲12.8	▲9.0	▲7.4	▲14.3	1.2	▲11.6	▲21.4	▲21.2	▲20.3	(0.9)	▲12.9	(▲7.4)	▲24.1	(▲3.8)		
	非製造業	▲24.6	▲5.2	▲31.2	▲12.8	▲25.0	▲22.4	▲5.7	0.0	▲9.8	▲7.1	▲4.9	▲17.4	▲6.9	▲11.2	(▲4.3)	▲10.4	(▲0.8)	▲14.6	(▲3.4)		
売上(出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲8.2	6.3	▲17.2	▲9.3	▲5.5	4.8	0.9	0.4	▲9.0	1.1	▲9.1	▲11.4	▲12.8	▲3.6	(9.2)	▲6.9	(3.3)	▲12.5	(▲8.9)	製造業は前期比11ポイント上昇し、非製造業は同7ポイント上昇した。先行きは、製造業で5ポイント低下、非製造業で12ポイント低下する見通し。
	製造業	12.9	14.8	▲13.3	▲14.7	8.0	12.7	▲7.3	1.1	▲11.0	7.1	▲13.0	▲13.6	▲21.7	▲10.8	(10.9)	▲9.9	(▲0.9)	▲15.9	(▲5.1)		
	非製造業	▲22.0	0.8	▲20.0	▲5.4	▲16.2	▲1.7	7.7	0.0	▲7.6	▲3.7	▲6.3	▲9.5	▲5.4	1.8	(7.2)	▲4.5	(6.3)	▲10.0	(▲11.8)		
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	14.2	11.0	▲16.9	▲16.8	7.9	11.7	▲11.2	▲12.6	▲19.8	2.4	▲17.6	▲22.4	▲24.8	▲19.1	(5.7)	▲17.4	(▲1.7)	▲20.5	(▲1.4)	前期比6ポイント上昇した。先行きは概ね横ばい(-)の見通し。
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	10.7	9.7	▲7.2	▲10.6	2.3	10.7	▲10.2	▲7.5	▲15.2	2.4	▲17.6	▲20.7	▲20.4	▲16.9	(3.5)	▲12.0	(▲4.9)	▲18.3	(▲1.4)	前期比4ポイント上昇した。先行きは概ね横ばい(-)の見通し。
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	10.9	6.1	▲13.2	▲7.3	3.4	7.4	▲6.0	▲7.4	▲14.4	▲6.9	▲16.2	▲19.1	▲24.4	▲17.9	(6.5)	▲14.0	(▲3.9)	▲12.0	(5.9)	前期比7ポイント上昇した。先行きは6ポイント上昇する見通し。
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	8.8	3.7	10.0	17.0	20.0	10.8	11.4	20.5	18.9	16.7	12.1	11.5	6.4	14.6	(8.2)	6.6	(8.0)	10.2	(▲4.4)	前期比8ポイント上昇した。先行きは4ポイント低下する見通し。
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	8.7	17.0	19.3	29.8	35.8	44.3	40.8	40.0	33.1	34.5	32.3	31.1	32.7	29.7	(▲3.0)	27.1	(2.6)	29.9	(0.2)	製造業は前期比11ポイント低下し、非製造業は概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(+)、非製造業で横ばい(-)となる見通し。
	製造業	11.7	17.3	19.8	33.4	33.7	55.7	44.9	39.8	28.3	35.3	35.7	29.0	34.7	24.1	(▲10.6)	25.6	(▲1.5)	25.6	(1.5)		
	非製造業	6.6	16.8	19.0	27.2	37.7	35.1	37.5	40.2	37.0	33.9	29.9	32.8	31.0	33.9	(2.9)	28.3	(5.6)	33.0	(▲0.9)		
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	40.0	54.0	58.9	69.2	72.3	71.7	73.6	60.9	56.8	56.4	54.9	59.8	57.0	55.9	(▲1.1)	50.3	(5.6)	53.9	(▲2.0)	製造業は前期から横ばい(+)、非製造業は概ね横ばい(-)だった。先行きは、製造業で横ばい(+)、非製造業で4ポイント低下する見通し。
	製造業	55.3	71.6	75.9	79.2	80.9	79.0	77.3	63.8	46.8	57.6	60.7	60.9	54.8	55.4	(0.6)	49.4	(6.0)	56.1	(0.7)		
	非製造業	29.4	43.1	47.0	61.9	65.6	65.8	70.8	58.5	64.5	55.3	50.9	58.9	58.8	56.2	(▲2.6)	50.9	(5.3)	52.3	(▲3.9)		
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲11.1	▲5.1	▲22.7	▲24.0	▲21.7	▲20.7	▲19.0	▲13.5	▲17.0	▲7.6	▲16.5	▲20.8	▲15.9	▲18.2	(▲2.3)	▲17.6	(▲0.6)	▲25.1	(▲6.9)	製造業は前期比8ポイント上昇し、非製造業は同10ポイント低下した。先行きは、製造業で6ポイント低下、非製造業で8ポイント低下する見通し。
	製造業	2.2	▲1.2	▲19.5	▲36.5	▲24.8	▲16.8	▲28.6	▲19.3	▲19.6	▲2.3	▲23.6	▲24.2	▲22.6	▲14.5	(8.1)	▲21.1	(6.6)	▲20.0	(▲5.5)		
	非製造業	▲19.7	▲7.4	▲24.8	▲15.4	▲18.8	▲23.7	▲11.4	▲9.0	▲15.0	▲11.4	▲11.6	▲18.3	▲10.5	▲20.8	(▲10.3)	▲14.8	(▲6.0)	▲28.7	(▲7.9)		
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲7.1	▲0.5	▲0.5	3.0	0.4	▲4.6	▲1.3	2.3	▲4.6	▲2.0	0.0	▲2.5	▲11.5	▲13.2	(▲1.7)	0.5	(▲13.7)	▲8.8	(4.4)	製造業は前期から概ね横ばい(-)、非製造業は概ね横ばい(-)だった。先行きは、製造業で4ポイント上昇、非製造業で4ポイント上昇する見通し。
	製造業	▲5.3	2.5	▲7.2	3.1	1.1	3.2	▲4.1	1.1	1.1	▲7.0	2.4	0.0	▲13.8	▲15.5	(▲1.7)	1.1	(▲16.6)	▲11.1	(4.4)		
	非製造業	▲8.3	▲2.2	4.1	3.0	0.0	▲10.8	0.8	3.4	▲9.1	1.8	▲1.7	▲4.5	▲9.6	▲11.5	(▲1.9)	0.0	(▲11.5)	▲7.2	(4.3)		
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲3.7	▲0.4	▲4.8	▲3.0	▲7.1	▲6.9	▲7.7	▲4.2	▲8.5	▲4.1	▲5.3	▲10.4	▲10.9	▲7.6	(3.3)	▲10.1	(2.5)	▲8.3	(▲0.7)	製造業は前期比6ポイント上昇し、非製造業は概ね横ばい(+)だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(+)、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲5.3	▲4.9	▲7.2	▲11.7	▲11.2	▲12.6	▲11.3	▲6.5	▲6.5	▲3.5	▲5.9	▲11.5	▲11.9	▲6.0	(5.9)	▲7.7	(1.7)	▲5.0	(1.0)		
	非製造業	▲2.8	2.3	▲3.2	2.9	▲4.2	▲2.5	▲4.8	▲2.5	▲9.9	▲4.5	▲4.9	▲9.6	▲10.3	▲8.7	(1.6)	▲12.1	(3.4)	▲10.7	(▲2.0)		
設備投資	設備投資 実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	57.6		59.5		55.3		53.0		60.0		52.9		56.5		(3.6)		(1.6)	55.0	(▲1.5)	当初計画(6か月前計画)と比べると、製造業は4ポイント低下し、非製造業は6ポイント上昇した。前期実績(24年1~6月期)と比べると、製造業は概ね横ばい(+)、非製造業は6ポイント上昇した。先行きは、製造業で5ポイント上昇し、非製造業で6ポイント低下する見通し。
	製造業・実績 (6か月前計画)	63.4		62.5		60.0		51.6		59.3		56.2		57.1		(1.0)		(▲3.5)	61.9	(4.8)		
	非製造業・実績 (6か月前計画)	54.1		57.4		51.6		54.1		60.5		50.4		56.0		(5.6)		(5.6)	50.0	(▲6.0)		

<調査期日> 2024年12月時点(回答受付:12月2日~27日)
 <調査対象> 462社
 <有効回答> 200社(製造業84社、非製造業116社)